

令和6年(2024)正月号第154号(1)

# 寺報

発行 福島市田沢字寺前18  
長秀院・仲興寺

TEL 024(548)1240

FAX 024(573)1202

ホームページ <http://www.choshuin.jp/>

e-mail [info@choshuin.jp/](mailto:info@choshuin.jp/)

編集責任・渡辺 祥文



令和六年太祖瑩山紹瑾禪師七〇〇回大遠忌

## 恭賀新禧

専ら祈る所は

正法興隆

修道無難

国土安穩

万邦和平

特に祈る所は

福寿長久

子孫繁栄

諸災消除

諸縁吉祥

皆様の健康と無事を念じ、あわせて  
本年のご多幸を心より祈り上げます

仏紀二五九〇年  
邦暦令和六年  
西暦二〇二四年

元旦

山 祥 拜



# 雲水日記 その十二

渡辺 秀憲

新年あけましておめでとうございます。皆さん如何お過ごしでしょうか。

前は永平寺で毎年四月の末に修行される「報恩授戒会ほうおんじゅかいえ」のお話でした。今回は全山の生活用品や法要で使う物品を管理する「知庫寮ちこりょう」についてです。

報恩授戒会を終えた五月初頭、恒例の大きな配置換えが行われます。それまで鐘洒のお役目を頂いていた私は、「知庫寮」への転役（部署の異動のこと）となりました。

「知庫」とは修行道場の「倉庫を知る者」の意味。法要で使われるお経本や仏具などをしまふ倉庫を管理するのが基本的な役目です。また、髭剃りやタオルなどの生活用品も管轄であり、それらを取り扱う修行僧向けの売店も永平寺の中にあります。

修行僧向けの他に、参拝者向けの売店や御朱印の受付などもあります。そうした売り上げを管理するのも知庫寮の役目です。他にも法要の際に受け取るお布施や、各所に設置されているお賽銭箱なども管轄です。いわば永平寺の倉庫であり、金庫といったところでしょうか。

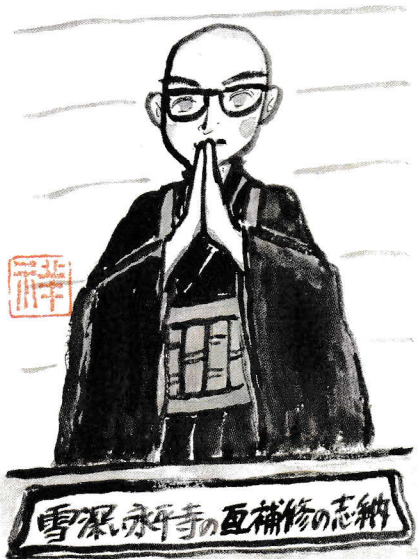
もともと金庫の管理は、専門の従業員さんや、「役寮やくりょう」と呼ばれる公務の責任者である僧侶の仕事。一年目の修行僧に任せられる日々のお役目は、お金を数えて報告すること。売店の売り上げや、屋根瓦の補修の寄付を数えて、金庫を管理している従業員さんにお渡します。

売店の営業終了が近づく午後四時頃、売店の売り上げをもって、永平寺の事務作業を担う「本山事務所ほんざんじむしょ」へと向か

います。役寮さんや従業員さんが、一日の仕事が終わらせるために黙々とパソコンに向かっています。私たち知庫寮がお金を数え上げないと、金庫を管理する従業員さんが帰れません。無言の催促に焦りながらお金を数えます。

ある日、私がついにやってしまいました。皆様からお預かりした永平寺を運営する大切なお金を入れた袋をひっくり返して、床にお金をぶちまけてしまったのです。

事務所の床に転がるお金を見て、金庫を管理する従業員さんは大激怒。「硬貨一枚たりとも見逃さず探さない！」先輩修行僧なんかよりもよっぽど怖い人がいることを知った日でした。



# 秀憲和尚、副住職任命について

長秀院住職・仲興寺兼務住職渡辺祥文（智徳祥文）徒弟、渡辺秀憲（祥徳秀憲）は、三年前の令和二年十一月大本山永平寺より帰山の後、令和三年四月より曹洞宗総合研究センター教化研修部門において研究研修に励んでおりましたが、令和六年三月修了をもって福島へ帰山いたします。今後は、地元福島にて師匠を補佐し、各御寺院様、檀信徒の皆様、地域の皆様とともに歩んでまいりますので、何卒ご指導、ご交誼のほど宜しくお願い申し上げます。

## 副住職任命について

現在曹洞宗務庁へ「副住職」の任命の申請書を提出しており、その認可を待っているところです。

副住職に任命されるとこれまでとどのようなに変わるのかと申しますと、主に住職のもとで住職とともに寺院内外の様々

にかかわることとなります。住職が病気等で寺院の仕事やつとめができなくなつた場合は、住職にかわつてこれを行います。また、住職が死去した場合、直ちに住職任命申請を行い、住職（代表役員）に就任いたします。

皆様にわかりやすく具体的などころでは、住職にかわつて葬儀をつとめられるようになり、またこれまで墨染めの法衣（黒衣）しか身につけられませんでした、副住職となりますと、色衣しきえ（赤い法衣・緋衣以外の色）色のついた法衣を身につけるようになります。

そのような訳で、本人にとりましても責任が重くなり、多くの皆様のご交誼を賜わることとなります。

今後は寺院の内外でより身近にお世話になりますので、重ねて宜しくお願い申し上げます。（住職 智徳祥文 拝記）

① これは、黒法衣  
本欄色のお装束



② 副住職は、色法衣  
お葬儀には導師となり、  
金桶のお装束を着用



# 除夜の鐘



## 2023年12月31日

午後11時30分打出し

マスク着用にて、係の誘導に従って下さい。  
誘導に従って撞いていただきますので宜しくお願  
いいたします。

## 行事案内

### ★長秀院

十二月三十一日 午後十一時三十分

除夜の鐘打出し

元旦 午前零時三十分

元朝祈禱

### ★仲興寺

元旦 午後一時

元朝祈禱

以降 一月中、年始回礼

年頭回礼だけでは間に合わなくなつてまいりました。つきましては、年末にご挨拶申し上げます。お宅もでてまいりますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

### おねがい

年始回礼中は不在となります。ご相談等の場合はご来山前に確認をお願いいたします。

電話〇二四一五四八―二四〇

FAX 右同

### 年回正當

年回正當のほけ様方のご命日をご確認ください。また、ご連絡と貼り出しをご覧頂きますよう、お願いいたします。

### 年回表

一周忌	令和五年(二〇二三)
三回忌	令和四年(二〇二二)
七回忌	平成三十年(二〇一八)
十三回忌	平成二十四年(二〇一二)
十七回忌	平成二十年(二〇〇八)
廿三回忌	平成十四年(二〇〇二)
廿七回忌	平成十年(一九九八)
卅三回忌	平成四年(一九九二)
卅七回忌	昭和六十二年(一九八八)
五十回忌	昭和五十年(一九七五)
百回忌	大正十四年(一九二五)
百五十回忌	明治八年(一八七五)
二百回忌	文政八年(一八二五)
二百五十回忌	安永四年(一七七五)
三百回忌	享保十年(一七二五)
三百五十回忌	延宝三年(一六七五)
四百回忌	寛永二年(一六二五)